

R1.6. 18 Gコート 第2試合 準決勝

		13	—	19		
		20	—	16		
庄和	62	11	—	30	85	埼玉栄
		18	—	20		

第1Q、両チーム共にマンツーマンディフェンスで試合をスタートする。両チーム共硬さが見られ、シュートが決まらない。最初に流れを掴んだのは埼玉栄。#35のドライブインシュートが決まり、交代でコートインした#21のポストプレイで得点しリードする。庄和も得意のドライブインシュートが決まりだし、#5が突破口となり、点差を縮める。埼玉栄の得点が思いのほか伸びない時間帯が続く。残り2分、庄和#5がドライブインからファールをもらい同点とする。埼玉栄は#21の活躍でようやく得点が入りだし、6点差で第1Qを終了する。

第2Q、庄和#5のドライブインシュートでリズムを掴む。#6ドライブ、#7のジャンプシュートでファールをもらい得点につなげる。さらに#10が連続してジャンプシュートを決めて加点していく。埼玉栄も#41がオフェンスリバウンド、ジャンプシュートを決めて得点するが、庄和の流れで試合は進む。#9の3Pシュートが決まり、同点となる。埼玉栄も#41が気を吐き、オフェンスリバウンドからもシュートをねじ込み、ジャンプシュートを決める。

第3Q、徐々に埼玉栄のペースになる。埼玉栄の厳しいディフェンスが庄和の動きを止めるシーンが多くなる。埼玉栄は#0のジャンプシュート、#34、#35のゴール下のシュートと内外バランスよく得点していく。庄和も#5の3Pシュート、#9のドライブインシュートで得点するが、埼玉栄のディフェンスを崩すことができずにリードを広げられていく。埼玉栄は5人がバランス良く得点に絡み、完全に試合の主導権を掴む。

第4Q、埼玉栄のペースで試合は進む。攻守ともにイニシアチブをとりリードを広げていく。庄和は劣勢の中で#6がドライブインシュート、ジャンプシュートと果敢に得点に絡む。埼玉栄は主力メンバーを温存し、ベンチに下げる余裕を見せる。#9が3Pシュート、ドライブインシュートを決め、最後まで粘る庄和であったが点差を縮めることはできず、試合終了となった。地力に勝る埼玉栄が決勝進出を決めた。